

(2) 核種分析結果 (機器分析)

平成23年度第1四半期報告書

試料	単位	平成23年度の測定結果 (測定値の範囲)	対照期間の測定結果 (当該核種の測定値の範囲)		
			最近の期間 (18~22年度)	事前調査期間 (59.12まで)	
浮遊じん (月間)	Bq/m ³	Cs-134 $2.4 \times 10^{-5} \sim 5.5 \times 10^{-4}$	* $\sim 5.1 \times 10^{-6}$	*	
		Cs-137 $2.5 \times 10^{-5} \sim 5.2 \times 10^{-4}$	* $\sim 4.1 \times 10^{-6}$	*	
降下物 (月間)	Bq/m ²	I-131 * ~ 1.6	*	*	
	Bq/m ²	Cs-134 1.1 ~ 23	* ~ 5.4	*	
	Bq/m ²	Cs-137 1.1 ~ 22	* ~ 5.2	* ~ 0.44	
陸水	飲料水 河川水	Bq/l	Cs-137 *	* ~ 0.0013	*
			Cs-137 0.0017	* ~ 0.0014	*
畜産物	牛乳	Bq/l	Cs-137 * ~ 0.026	* ~ 0.017	* ~ 0.81
海水		Bq/l	Cs-137 0.0017 ~ 0.0026	0.0012 ~ 0.0024	* ~ 0.0074
海底土		Bq/kg乾	Cs-137 * ~ 1.3	*	* ~ 22
海産物	魚類 藻類	Bq/kg生	Cs-137 0.089 ~ 0.090	0.045 ~ 0.12	0.11 ~ 0.44
			I-131 0.38	*	*
			Cs-137 0.052	* ~ 0.035	* ~ 0.23
指生標物	ホンダワラ類	Bq/kg生	I-131 * ~ 1.2	* ~ 1.1	*
			Cs-134 * ~ 0.65	* ~ 0.42	*
			Cs-137 * ~ 0.71	* ~ 0.49	*

- (注) 1 人工放射性核種が検出されない試料については、Cs-137を記した。
 2 検出下限値未満は、*とした。
 3 放射能濃度の有効数字は、2桁である。
 4 降下物の単位は、放射能面密度である。
 5 降下物は多数の人工放射性核種が検出されたため、I-131、Cs-134、Cs-137を記した。検出された他の人工放射性核種については、参考資料に記した。
 6 降下物及び藻類中のI-131は、乾固物及び灰化物では正確な値にならないため参考値である。
 7 ホンダワラ類中のI-131は、マリネリ容器を用いた生試料測定値である。対照期間の値については、灰化物の測定結果である。

(3) 核種分析結果 (ストロンチウム-90の放射化学分析)

試料		単位	平成23年度 第1四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	対照期間の測定結果 (当該核種の測定値の範囲)	
				最近の期間 (18~22年度)	事前調査期間 (59.12まで)
畜産物	牛乳	Bq/l	Sr-90 0.020	* ~ 0.035	0.021 ~ 0.67
指生物	ホンダワラ類	Bq/kg生	Sr-90 0.025 ~ 0.030	0.036 ~ 0.080	0.029 ~ 0.59

- (注) 1 検出下限値未満は、*とした。
2 放射能濃度の有効数字は、2桁である。

(4) 核種分析結果 (トリチウムの放射化学分析)

試料		単位	平成23年度 第1四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	対照期間の測定結果 (当該核種の測定値の範囲)	
				最近の期間 (18~22年度)	事前調査期間 (59.12まで)
大気 (月間)	監視地域	Bq/m ³	H-3 0.0066 ~ 0.013	* ~ 0.019	
	対照地域		H-3 0.0052 ~ 0.0072	* ~ 0.011	
陸水	飲料水	Bq/l	H-3 * ~ 0.41	* ~ 0.90	1.5 ~ 2.6
	河川水		H-3 *	* ~ 0.76	1.0 ~ 1.4
海水		Bq/l	H-3 *	* ~ 0.47	* ~ 1.7

- (注) 1 検出下限値未満は、*とした。
2 放射能濃度の有効数字は、2桁である。
3 大気中のH-3は平成17年4月から測定を開始した。

(5) 核種分析結果 (プルトニウムの放射化学分析)

試料		単位	平成23年度 第1四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	対照期間の測定結果 (当該核種の測定値の範囲)	
				最近の期間 (18~22年度)	事前調査期間 (59.12まで)
海底土	Bq/kg乾	Pu-238 *			
		Pu-239 +240 0.096 ~ 0.22	0.11 ~ 0.19	0.17 ~ 0.18	

- (注) 1 検出下限値未満は、*とした。
2 放射能濃度の有効数字は、2桁である。
3 Pu-238の解析は平成23年度から開始した。